

戸木だより

津市立戸木小学校だより

2022. 6. 16 No.11

想像力を働かせる ～学校生活から～

最近子どもたちの学校生活の中で気になるのが、廊下を走る姿です。休み時間に早く外に行きたいという気持ちがそうさせることは分かりますが、梅雨の季節には特に危険なことです。廊下を走る子どもたちに「廊下を走ると困ることは？」と聞くと、「人にぶつかったらけがをする。」「自分がこけたらけがをする。」と答えます。知識として理解しているけど、「本当にそうになったら・・・」「骨が折れたり、切り傷ができたりしてとても痛い思いをするかもしれない。ぶつかった相手の人も痛いだろうな。」など、その後の情景を具体的に想像することができていないのではと思います。同じように先月は、トイレのスリッパが乱れていることが多くありました。子どもたちに、トイレのスリッパがそろえられていないとどんな困ったことが起きるか想像してほしい気持ちで話をしました。また子どもたち同士のトラブルの中にも、相手がどんな気持ちになるかを想像していればトラブルにならなかったのではないかと思うことがあります。想像力を働かせることは、相手のことを思いやり、円滑な関係を作ることにもつながります。最近の生活はスピードが求められ、ゆっくり想像力を働かせる時間が無くなってきているように思われます。これから梅雨の季節を迎え、外に遊びに行けない日が増えます。その中で学校では、楽しみながら想像力を鍛えることができる読書の機会を増やしていきたいと取り組んでいます。今週図書委員会が、図書館祭りで図書館ビンゴを開催しています。たくさん子どもたちが休み時間、図書室に来ています。この機会にたくさん本を読んで、情景や登場人物の気持ちなどを想像することを楽しみ、想像力を鍛えていってほしいと思っています。ぜひご家庭でもご家族で読書を楽しんでみてください。

徒然なるままに～四つ葉のクローバー～

校庭にクローバー（シロツメクサ）がたくさん生えています。クローバーは普通三つ葉ですが、まれに四つ葉があります。子どもたちは、見つけるのを楽しみにしていて、見つけると「校長先生、四つ葉見つけた！」と嬉しそうに見せてくれます。そういえば私も子どものころ公園などで四つ葉のクローバー探しをしたなと懐かしく思い返しています。「なぜ四つ葉になるのか？」ということについては諸説がありはっきりわかりませんが、希少であることから昔から「幸福になる」「幸福を呼ぶ」などと言われています。荒地でも育つクローバーのように子どもたちもたくましく、そして幸せに成長してほしいです。



※裏面に『学校ホームページ』のスマートフォン等での閲覧方法について」掲載しましたので、ご活用ください。